

新庁舎位置の見直しは

検討し9月表明／町長



議員 岩義 藤本

基本」と思う。大きい避難道も良いが裏山にある赤道等の整備（舗装、誘導照明、手すり、自発光式道路板）すれば安全に避難できる。佐賀地区では荒神山から東公園まで25m付近を水平に道をつけ、下から何カ所も小道をつけてはどうか。また、灘く白浜間の国道での避難道設置はできないか。

① 庁舎位置の見直しはするの。浸水するところにこれから建設する新しい庁舎を決めるのはおかしいのでは。

② 黒潮消防新庁舎の敷地は海拔16〜17m。現防災計画では伊田は津波が7〜9mと想定されているが、今回の東日本津波を見ると5〜6mかさ上げしてはどうか。

③ 避難道の整備が急務と思うがその考え方はあるのか、防潮堤も大事だが海岸線の多い黒潮町では「逃げる整備が

上げをしたい。

③ 避難道の再調査は必要。先に文教施設の避難道の整備をする。その後整備をしていく。佐賀地区は漁業集落整備事業で避難場所の連携も含めて検討していく。白浜〜灘間の国道は現地調査し、今年度国交省が整備を検討してる。

説明不足では 周知を図る ／総務課長

情報基盤整備

問

① 工事が遅れているようだが7月に迫ってきた地デジ化に間に合うか。工事の遅れや、デジアナ変換の設定方法、新しいチャンネルの周知が住民にされていない。

② 昨年の11月に携帯電話の不感地帯解消の工事は終了したと聞くが、未だに使えない

答

住民から不満の声を聞く。遅れるのであれば遅れる理由、期間を周辺地域の住民に説明すべきと思う。住民に情報提供することで信頼関係ができてくる。また、熊野浦の工事はいつから行うのか。

③ 光ネットワークの工事が始まったきっかけは、防災行政無線の工事が高額で、有線であると不利な面はあるが、多目的に活用できることから始まった。防災も重要な目的とすれば施設の防災対策はできているか、地震・台風で電柱が倒れたときケーブルにゆとりがないと切断の恐れがあるが、どうか。

④ インターネット等の相談窓口は夜間や休日に業務が行えるようにすべきと思うが対応は考えているか。

⑤ スピードは予定通り出ているか。

松田 総務課長

① 工事が計画通りに進んで

なく住民の方々に迷惑をかけることをお詫びする。

現在定期的に業者とも協議し間に合わせるとの確認をとっている。デジアナ変換についても周知する。

② 大屋敷、奥湊川、大井川で工事をしている。奥湊川はNTTドコモとKDDIで大屋敷と大井川はNTTドコモが開局、NTTドコモは7月にKDDIは8月に利用可能。熊野浦地区と、大方橋川地区は9月発注予定。関係地域には予定を知らせる。

③ 伝送路は若干余裕を持って配線している。また、共架柱等は耐震対応している。停電等には発電機、バッテリー対応している。

佐賀の防災行政無線、大方屋外マイク施設には現予算で告知対応する。

④ 質問の趣旨は承知しているが費用の関係で今のところ考えていない。

⑤ 予定通り出ている。上位プロバイダーとも1000メガベストエフォートで契約している。